

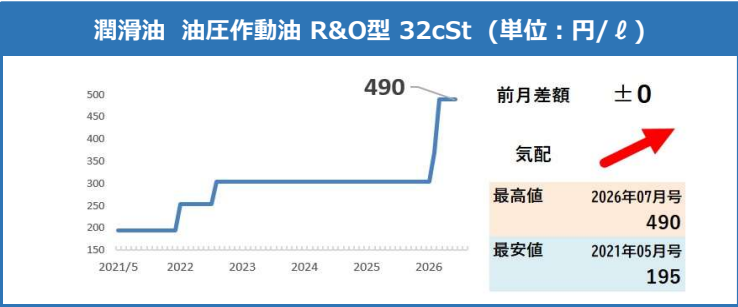
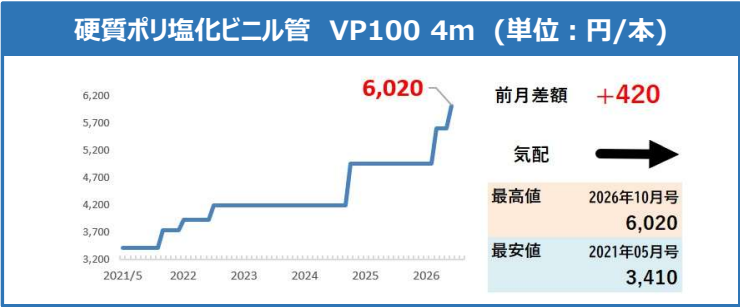
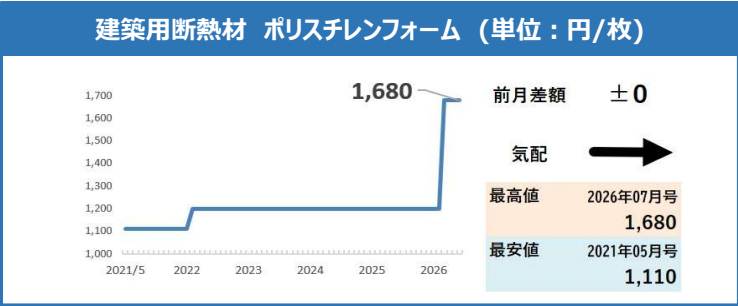
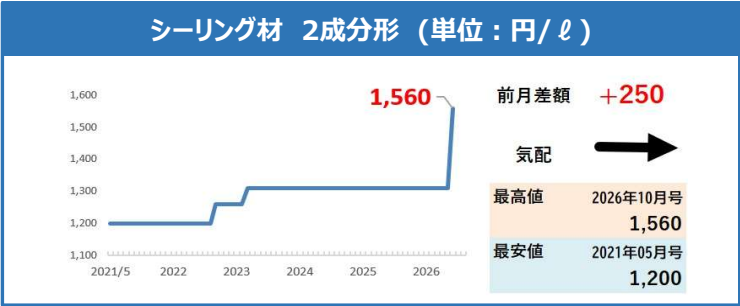
中東情勢緊迫化に伴う建設資材価格・需給動向（調査レポート）

— 中東情勢の影響が懸念される主な建設資材 — ※月刊『建設物価』2026年10月号 東京 ホルムズ海峡の海上輸送リスク・原油価格上昇を背景に、石油系原料依存度の高い資材で影響が顕在化

2026年9月上旬調べ

品名	規格	単位	価格動向			需給動向		原料系統	概況(要点)	掲載ページ
			価格	前月比	気配	現在	見通し			
塗料	銅構造物用塗料 (変性エポキシ樹脂 下塗り塗料)	kg	1,640	横ばい	横ばい	均衡	均衡	ナフサ	受注停止や数量制限は解消し、注文は通常どおり受付可能な状況。一部の下塗り塗料で納期を要するが、他品目は通常の供給体制に戻り供給は安定。価格は値上げ浸透後、横ばいで推移。	198
塗料用シンナー	比重0.79	ℓ	400	横ばい	横ばい	均衡	均衡	ナフサ	ナフサ等の高騰や調達制約で続いていた需給ひっ迫は、政府の原料供給拡大等により解消。主要各社の生産・出荷も安定し、数量制限や納期遅れの制約は見られない。価格は緊迫化前比で大幅上昇後、横ばいで推移。	200
防水材	防水工事用 アスファルト3種 針入度20〜40 (25kg袋)	t	259,000	横ばい	横ばい	やや ひっ迫	均衡	アスファルト	各社の受注再開で当初の混乱は峠を越え、流通は正常化に向かっており供給は改善傾向にある。一方、5月以降の大幅な価格改定の影響は続き、追加改定の可能性にも留意が必要。	456
シーリング材	変成シリコン系 シーリング2成分形 耐久性9030 JIS A 5758	ℓ	1,560	上伸	横ばい	やや ひっ迫	均衡	ナフサ	各社の受注再開や出荷調整により需給は概ね均衡しつつあるが、一部の製品では出荷制限や品種の絞り込みが継続。価格は原材料高を背景に上伸したが、先行きは横ばいの見通し。	458
建築用断熱材	押出法ポリスチレン フォーム1種bC 30×910×1820	枚	1,680	横ばい	横ばい	やや ひっ迫	やや ひっ迫	ナフサ	受注再開の動きで需給は改善傾向にあるが、出荷制限や品種の絞り込みは一部で継続し納期は長期化。価格は中東情勢緊迫化前と比べ大幅に上伸し、当面は高止まりが続く見込み。	516
硬質ポリ塩化ビニル管	VP100 4m	本	6,020	上伸	横ばい	やや ひっ迫	均衡	ナフサ	仮需対策で供給調整が続くが、ナフサ供給正常化や代替調達の進展で生産面の制約が改善し、納期正常化を見込む。価格水準は中東情勢緊迫化以降2回上伸しており、先行きは横ばいの見通し。	688
潤滑油	建設機械用潤滑油 油圧作動油 R&O型 32cSt ドラム	ℓ	490	横ばい	強含み	やや ひっ迫	やや ひっ迫	原油 (ベースオイル)	官民連携の代替調達や直販活用で需給のひっ迫感は解消に向かう。一部品目で出荷制限が続くが受注・出荷体制は正常化の方向。価格は高値圏で上げ一服だが、不安定な中東情勢を背景にベースオイルの上昇が予想され、先行き強含みの見通し。	790

◆ 主要品目 価格推移グラフ



【価格】赤字：前月上伸 黒字：前月変わらず 青字：前月下落
【前月差額】2026年10月号(東京)と2026年9月号(東京)を比較
【気配】2026年10月号(東京)時点での価格見通し
【最高値・最安値】2021年5月号以降の最高値と最安値を表示。なお、最高値、最安値の表示月号はその価格を最初に記録した月号を表示